

# 新型コロナウイルス感染症の検査方法について

城里町国保七会診療所 上井 雅哉

ここ最近、新型コロナウイルス感染症の検査実施数が増え、さまざまな検査の名前を聞くようになりました。そこで、新型コロナウイルスに関わる代表的な3つの検査について説明します。

## 新型コロナウイルス感染症について

主な感染経路は、飛沫感染と接触感染です。潜伏期は1～14日間、曝露から5～7日程度で発症し、無症状の感染者からも感染するリスクがあります。発症後7～10日程度まで、感染性があるとされています。また、発症前の感染者からの二次感染が45%を占めていたとの研究もあります。



## 1. 核酸検出検査(PCR検査)

鼻咽喉ぬぐい液、唾液等を検体として、新型コロナウイルスに特異的な遺伝子(核酸)をRT-PCR法等で増幅して検出する方法です。感度、特異度が高く確定診断に広く用いられている方法ですが、検査時間が比較的長く(1～5時間)、専用機器と熟練した技術者を要し、コストがかかるのがデメリットです。

PCR検査での陽性は、感染後数週間持続しますが、感染性のあるウイルスが分離されるのは約10日後までであり、感染性を持たない陽性があることに注意が必要です。

PCR検査は、既知の遺伝子のうち特徴的な一部分を増幅するものです。遺伝子の組み換え(変異)が大きく起こってしまうと、今後、流行すると予測されている変異型ウイルスが検査をすり抜けてしまう可能性があります。変異型ウイルスについては、遺伝子の全ゲノム解析をもとにPCR試薬を作り直して対応しています。

## 2. 抗原検査

鼻咽喉ぬぐい液、唾液等を検体として、新型コロナウイルスが持つ特異的なたんぱく質を迅速に検出する方法で、定性法と定量法の2種類の検査方法があります。短時間(30分程度)で検査結果が判明しますが、PCR検査に比べ感度が低いといわれています。抗原検査が陰性でも、症状、濃厚接触歴等から陽性が疑われる場合には、PCR検査の実施が必要とされています。

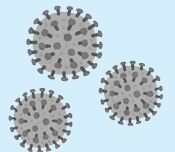


## 3. 抗体検査

抗体検査とは、ウイルスを検出する検査ではなく、ウイルスに対する抗体の有無を調べる検査です。主に検査の対象となる抗体は、「IgM抗体」と「IgG抗体」の2種類で、通常は感染から2週間程度で抗体の産生が始まります。

IgM抗体…一般的に感染の初期に産生され、比較的早い段階で消失します。  
IgG抗体…比較的ゆっくりと産生され、長期間体内に存在するといわれています。

時間の経過とともに消失するIgM抗体を確認できれば、最近、新型コロナウイルスに感染したと推定することができます。一方で、その後も産生され続けるIgG抗体を確認できれば、既往感染の可能性が考えられます。抗体検査は、過去の感染の有無を判定するものであり、現在、感染しているかどうかの検査ではありません。しかし、抗体検査の実施から抗体の陽性率を知ることができるため、感染症流行の全体像を把握することに役立ちます。



## 自動車税の納期限は 5月31日(月)です

自動車税(種別割)は、4月1日現在で自動車を所有している方に課税されます。納期限までに、コンビニエンスストア、金融機関、郵便局、県税事務所窓口で必ず納付してください。スマホ決済および「Yahoo! 公金支払い」での納付も可能です。納付に関する詳細は、納税通知書に同封されている「お知らせ」にてご確認ください。

※障害者手帳をお持ちの方は、一定の要件を満たす場合、申請により減免される場合があります。

問合せ 茨城県水戸県税事務所 収税第一課  
☎029-221-6605

## 教育委員会の異動について

令和3年3月25日付けで、教育委員会教育長職務代理者の松崎 忍さん(増井)が任期満了により退任されました。

新たに3月26日付けで、長山 透さん(上阿野沢)が委員に任命されました。任期は、令和7年3月25日までです。

また、令和3年3月31日付けで、川又 将委員(上青山)が、教育委員会教育長職務代理者に就任されました。

問合せ 教育委員会事務局 ☎029-288-7010